

献呈のことば（光岡貞夫教授退職記念）

著者	赤石 雅弘
雑誌名	甲南経営研究
巻	40
号	3・4
発行年	2000-03-10
URL	http://id.nii.ac.jp/1260/00004330/

献呈のことば

光岡貞夫先生は、1999年3月31日をもって甲南大学経営学部教授の職を退かれ、甲南大学名誉教授の称号を受けられました。

甲南大学経営学部へのご着任は1970年10月でありますので、28年6ヶ月の長きにわたって経営学部とともに歩んでこられたことになります。この間、先生は、教育、研究、大学行政のそれぞれに多大の貢献をされました。

教育面では、管理会計論、原価計算論、演習などの講義を担当され、暖かく、そして時には厳しく学生の教育・指導に当たられ、学部、大学院を通じて多くの人材を育ててこられました。

研究面では、一貫して管理会計、原価計算の研究に従事され、多数の優れた成果を発表されてこられました。とりわけ1981年に上梓された主著の『機会原価と管理会計』は、経済学分野で展開された機会原価概念が、会計学領域の原価概念と原価計算理論の発展に大きな影響を及ぼしたことを明らかにしたもので、学会で高く評価されていると拝聞いたします。

先生はまた、学長代理、学長補佐、国際交流センター所長、大学会議員、その他の要職を歴任され、大学行政に関しても尽力されました。また、甲南学園の常任理事として学園の管理運営にも参画され、現在の甲南大学国際交流センターの基礎作りに大きく寄与されました。

先生のご在職中の多くのご功績を称えるとともに、多年にわたるご活躍とご指導に感謝し、この記念号を編み、謹んで先生に捧げる次第です。

先生のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

経営学会長 赤石雅弘